

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2023.4.10	2023.4.10	2023.4.10
採取時刻			9:40	10:07	9:09
全水深(m)			19.0	15.2	15.1
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	475	1300
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		+
3			Peridinium spp.	5	25
4	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.		25
5			Mallomonas akrokomos	20	75
6			Mallomonas spp.	+	+
7		珪藻	Acanthoceras zachariasii		+
8			Asterionella formosa	+	+
9			Aulacoseira ambigua		+
10			Aulacoseira pusilla	155	155
11			Fragilaria crotonensis	+	
12			Nitzschia acicularis		5
13			Nitzschia spp.		5
14			Skeletonema potamos	+	40
15			Ulnaria japonica	5	+
16			Thalassiosiraceae-5	500	120
17			Thalassiosiraceae-10	40	20
18			Thalassiosiraceae-25	+	+
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	160	65
20	緑色植物	緑藻	Ankyra spp.		10
21			Chodatella quadriseta		5
22			Closterium spp.	5	+
23			Coelastrum spp.	80	120
24			Crucigenia tetrapedia		20
25			Dictyosphaerium sp.		+
26			Elakatothrix sp.	10	
27			Eudorina spp.	32	
28			Golenkinia sp.		5
29			Micractinium sp.		20
30			Monoraphidium spp.	10	15
31			Oocystis spp.	20	+
32			Pandorina morum		8
33			Pediastrum simplex		+
34			Scenedesmus acuminatus		+
35			Scenedesmus spp.	140	100
36			Tetraedron sp.	+	
37			Tetrastrum elegans		+
38			CHLOROPHYCEAE	50	50
39	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1
40	輪形動物	輪虫	Keratella spp.		2
41			Polyarthra spp.		+
42			Synchaeta sp.	+	
43	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
44		多膜口	Tintinnidium sp.		1
45			POLYHYMENOPHORA	15	30
46		-	CILIOPHORA	+	5
47	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
48	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)		50
49			鞭毛藻		20
50			鞭毛虫	10	40

採取地点		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2023.4.10	2023.4.10	2023.4.10
総数		1732	2166	2735
種類組成	藍藻	0	0	0
	クリプト藻	475	1300	80
	渦鞭毛藻	5	25	80
	黄金色藻	20	75	45
	珪藻	700	305	1770
	ユーグレナ藻	160	65	60
	その他の植物性	0	0	70
	動物性	25	76	38
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日		2023.5.19	2023.5.19	2023.5.19		
採取時刻		11:55	12:25	11:23		
全水深(m)		19.2	15.3	15.5		
採取水深(m)		0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)		100	100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(32)	(15)	(302)
2			Aphanocapsa spp.	(+)	(+)	(+)
3			Microcystis aeruginosa	+	130	967
4			Snowella spp.	(+)		(+)
5			Nostocaceae	(14)	(9)	(14)
6			CHROOCOCCALES	(+)	(+)	
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	50	125	1500
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	7	14
9			Peridinium spp.	5	5	5
10	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.			5
11			Mallomonas spp.	50	20	+
12		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	+	1	1
13		珪藻	Acanthoceras zachariasii			5
14			Asterionella formosa	+	8	+
15			Aulacoseira ambigua		310	
16			Aulacoseira pusilla	95	50	160
17			Aulacoseira granulata	+		
18			Fragilaria crotonensis		+	
19			Nitzschia sp.			5
20			Surirella sp.	+		
21			Ulnaria japonica	15	+	5
22			Urosolenia spp.	45	15	25
23			Thalassiosiraceae-5	65	+	20
24	Thalassiosiraceae-10		10	80	15	
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	50	85	70
26	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+	
27			Ankyra spp.	180	950	310
28			Chodatella sp.			5
29			Closterium spp.	2	3	3
30			Coelastrum spp.	40	40	+
31			Crucigeniella crucifera			80
32			Elakatothrix sp.		20	+
33			Eudorina spp.		64	+
34			Micractinium sp.			+
35			Oocystis spp.	1675	2450	2250
36			Pandorina morum	+		
37			Pediastrum boryanum			+
38			Pediastrum duplex	16	16	40
39			Scenedesmus spp.	70	+	30
40			Staurastrum spp.		2	+
41			Volvox spp.	+	240	
42			CHLOROPHYCEAE	330	550	320
43			節足動物	甲殻	CRUSTACEA	1
44	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.			1
45			Keratella sp.		+	
46			Polyarthra spp.	1	+	2
47			EUROTATOREA	+	+	1
48	絨毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps spp.	1	1	
49			SESSILIDA	+		
50		多膜口	Tintinnidium sp.			+
51			Tintinnopsis spp.	+	+	1
52			POLYHYMENOPHORA	20	10	10
53	—	CILIOPHORA	10	+		
54	不明プランクトン	—	微小鞭毛藻(5μm以下)	75	75	175
55			鞭毛藻	50		
56			鞭毛虫	25	50	+

採取地点		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2023. 5. 19	2023. 5. 19	2023. 5. 19
総数		2927	5337	6337
種類組成	藍藻	46	154	1283
	クリプト藻	50	125	1500
	渦鞭毛藻	5	12	19
	黄金色藻	50	20	5
	珪藻	230	468	230
	ユーグレナ藻	50	85	70
	その他の植物性	125	76	176
	動物性	58	62	16
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2023. 6. 6	2023. 6. 6	2023. 6. 6		
採取時刻			10:07	10:51	9:24		
全水深 (m)			19.7	16.1	15.3		
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50		
採水量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(5)		
2			Aphanocapsa sp.		(+)		
3			Cuspidothrix spp.	(18)	(15)	(18)	
4			Microcystis aeruginosa	130	+	+	
5			Snowella spp.	(10)	(+)	(+)	
6			Nostocaceae	(144)	(40)	(115)	
7			Pseudanabaenaceae			(+)	
8			CHROOCOCCALES	(10)		(+)	
9			OSCILLATORIALES		(+)		
10	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	200	130	450	
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	42	31	25	
12			Gymnodinium sp.			+	
13			Peridinium spp.	10	+	5	
14	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.		31		
15			Mallomonas akrokomos		25	15	
16			Mallomonas spp.	110	80	155	
17			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	1		2
18			珪藻	Acanthoceras zachariasii	40	10	40
19				Asterionella formosa	272	504	76
20				Aulacoseira pusilla	350	40	300
21				Fragilaria crotonensis	20		
22				Fragilaria sp.			+
23				Nitzschia acicularis	10	5	20
24				Nitzschia fruticosa	40		+
25				Nitzschia sp.	+		+
26				Ulnaria japonica	100	20	75
27				Urosolenia sp.	+		
28				Thalassiosiraceae-5	+	5	35
29				Thalassiosiraceae-10	40	5	45
30				Thalassiosiraceae-25		+	
31	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	65	25	70	
32	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	100		220	
33			Ankyra spp.	60	45	180	
34			Ankistrodesmus sp.			+	
35			Closterium spp.	4	2	4	
36			Coelastrum spp.	+	40	40	
37			Crucigenia tetrapedia			+	
38			Crucigeniella crucifera	80	320	+	
39			Dictyosphaerium sp.			160	
40			Elakatothrix spp.	10	+	+	
41			Eudorina spp.	288	96	160	
42			Micractinium spp.	+		60	
43			Monoraphidium spp.	10	5	20	
44			Oocystis spp.	+	+	+	
45			Pandorina morum	48	8		
46			Pediastrum duplex	48	8	24	
47			Pediastrum simplex	32		+	
48			Pediastrum tetras	8	+	+	
49			Scenedesmus acuminatus	+		40	
50			Scenedesmus denticulatus			+	
51			Scenedesmus spp.	40	30	40	
52			Schroederia spp.	75	10	170	
53			Staurastrum spp.	1	1	1	
54			Tetraedron spp.	5		5	
55			Treubaria sp.			5	
56	CHLOROPHYCEAE	490	90	540			
57	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		2		
58	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+	1		
59			Synchaeta sp.		+		
60			Trichocercidae	+			
61			EUROTATOREA	1			
62	絨毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps sp.	+			
63			多膜口	Tintinnidium spp.	2	+	1
64				Tintinnopsis spp.	5	4	+
65			POLYHYMENOPHORA		+	15	
66			—	CILIOPHORA	5		
67	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		5		
68	不明プランクトン	—	微小鞭毛藻 (5 μm以下)	25	50	75	
69			鞭毛藻	100		50	
70			鞭毛虫	100	75	75	

採取地点		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2023. 6. 6	2023. 6. 6	2023. 6. 6
総数		3149	1756	3338
種類組成	藍藻	312	55	138
	クリプト藻	200	130	450
	渦鞭毛藻	52	31	30
	黄金色藻	110	136	170
	珪藻	872	589	591
	ユーグレナ藻	65	25	70
	その他の植物性	126	50	127
	動物性	113	85	93
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2023.7.3	2023.7.3	2023.7.3
採取時刻		12:00	11:10	12:40
全水深(m)		19.3	15.0	15.1
採取水深(m)		0.50	0.50	0.50
採水量(ml)		100	100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Anabaenopsis sp.	(5)
2			Aphanizomenon spp.	(25)
3			Aphanocapsa spp.	(85)
4			Cuspidothrix sp.	(5)
5			Dolichospermum spp.	(60)
6			Microcystis aeruginosa	1249
7			Microcystis wesenbergii	
8			Pseudanabaena mucicola	
9			Nostocaceae	(2700)
10			CHROOCOCCALES	(5)
11			OSCILLATORIALES	(50)
12	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	35
13	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	4
14	不等毛植物	ラフィド藻	Mallomonas spp.	5
15			RAPHIDOPHYCEAE	2
16			Fragilaria crotonensis	165
17			Fragilaria spp.	5
18			Nitzschia acicularis	
19			Nitzschia fruticosa	
20			Ulnaria japonica	60
21			Urosolenia spp.	80
22			Thalassiosiraceae-5	+
23			Thalassiosiraceae-10	+
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	60
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	160
26			Ankyra spp.	45
27			Ankistrodesmus spp.	20
28			Chlorogonium sp.	
29			Closterium spp.	+
30			Coelastrum spp.	+
31			Elakatothrix spp.	405
32			Eudorina spp.	416
33			Micractinium sp.	20
34			Mougeotia sp.	
35			Oocystis spp.	20
36			Pediastrum duplex	
37			Scenedesmus spp.	+
38			Staurastrum spp.	4
39			CHLOROPHYCEAE	10
40	節足動物	甲殻	Diaphanosoma spp.	5
41	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	
42			Keratella spp.	2
43			Polyarthra spp.	1
44			Trichocercidae	5
45	絨毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps sp.	
46			SESSILIDA	+
47			POLYHYMENOPHORA	+
48			CILIOPHORA	10
49	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	25
50			鞭毛藻	
51			鞭毛虫	200

採取地点		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2023.7.3	2023.7.3	2023.7.3
総数		5937	5952	8215
種類組成	藍藻	4184	4032	6850
	クリプト藻	35	850	270
	渦鞭毛藻	0	4	0
	黄金色藻	5	5	0
	珪藻	310	206	185
	ユーグレナ藻	60	0	65
	その他の植物性	1100	739	491
	動物性	25	27	100
検査条件		218	89	254
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</p> <p>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</p>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2023. 8. 1	2023. 8. 1	2023. 8. 1	
採取時刻			9:05	9:42	8:33	
全水深 (m)			17.1	13.3	13.3	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(475)	(490)	(180)
2			Aphanocapsa spp.	(10)	(15)	(+)
3			Cuspidothrix spp.	(1000)	(1050)	(1250)
4			Microcystis aeruginosa	403	386	1121
5			Microcystis viridis			+
6			Microcystis wesenbergii	127		30
7			Pseudanabaena spp.	(20)	(20)	
8			Nostocaceae	(50)	(15)	(800)
9			OSCILLATORIALES	(1550)	(1400)	(1500)
10	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	90	280	1100
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1	2	+
12			Peridinium spp.		+	+
13	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	100	15	380
14			Acanthoceras zachariasii	5	20	
15			Aulacoseira granulata			+
16			Fragilaria spp.	10	10	5
17			Nitzschia acicularis		+	
18			Nitzschia fruticosa	+		
19			Nitzschia sp.			5
20			Ulnaria japonica	40	30	20
21			Urosolenia spp.	35	15	5
22			Thalassiosiraceae-5		+	
23			Thalassiosiraceae-10		+	+
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	15	55	10
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+	80
26			Ankyra spp.	25	20	10
27			Ankistrodesmus spp.	+	+	10
28			Chodatella sp.			+
29			Closterium spp.	2	4	10
30			Coelastrum spp.	+		+
31			Crucigeniella crucifera	160		80
32			Elakatothrix spp.	80	40	20
33			Eudorina spp.	+	16	48
34			Golenkinia sp.	5		
35			Mougeotia spp.	112	18	39
36			Oocystis spp.	70	70	25
37			Pediastrum simplex	32	16	
38			Scenedesmus ecornis	40	+	
39			Scenedesmus spp.	+	20	20
40			Staurastrum spp.	2	+	
41			CHLOROPHYCEAE	330	325	105
42	節足動物	甲殻	Diaphanosoma sp.		1	
43			CRUSTACEA	2		
44	輪形動物	輪虫	Keratella spp.	1		+
45			Polyarthra spp.		3	+
46	繊毛虫	キネトフラク ^o ミノフォーラ	Coleps sp.			+
47			CILIOPHORA	+	+	5
48	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻 (5 μm以下)	30	20	70
49			鞭毛藻		10	
50			鞭毛虫	20	30	40

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2023. 8. 1	2023. 8. 1	2023. 8. 1
総数		4842	4396	6968
種類組成	藍藻	3635	3376	4881
	クリプト藻	90	280	1100
	渦鞭毛藻	1	2	0
	黄金色藻	100	15	380
	珪藻	90	75	35
	ユーグレナ藻	15	55	10
	その他の植物性	30	30	70
	動物性	23	34	45
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2023.9.4	2023.9.4	2023.9.4		
採取時刻			11:30	12:05	12:55		
全水深(m)			16.0	12.1	13.0		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Cuspidothrix spp.	(1550)	(575)	(2850)	
2			Dolichospermum sp.	(5)			
3			Nostocaceae	(75)	(35)	(45)	
4			CHROOCOCCALES		(20)	(5)	
5			OSCILLATORIALES	(230)	(20)	(570)	
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	360	240	320	
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		1	1	
8			Peridinium spp.	+	5		
9	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	5	10		
10		珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	5	5	
11			Aulacoseira pusilla		5		
12			Fragilaria sp.	5			
13			Nitzschia sp.		+		
14			Skeletonema potamos		10		
15			Urosolenia spp.	80	250	70	
16			Thalassiosiraceae-5	5	10	5	
17			Thalassiosiraceae-10	10	5		
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.		20	25	
19	緑色植物	緑藻	Ankyra spp.	220	410	80	
20			Chodatella sp.	5			
21			Closterium spp.	15	6	4	
22			Coelastrum spp.	1400	1840	840	
23			Crucigeniella crucifera	180	100	360	
24			Elakatothrix spp.	10	5	15	
25			Eudorina spp.		88	+	
26			Golenkinia sp.		+		
27			Monoraphidium sp.			5	
28			Mougeotia spp.	75	8	14	
29			Oocystis spp.	+	30	+	
30			Scenedesmus spp.	580	200	330	
31				CHLOROPHYCEAE	13050	30600	10150
32			節足動物	甲殻	CRUSTACEA		2
33	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		1		
34			Brachionus sp.		+		
35			Keratella sp.			+	
36			Polyarthra spp.	1	2		
37			EUROTATOREA		2		
38	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA		10	15	
39		-	CILIOPHORA	+	5	5	
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5 μm以下)	+			
41			鞭毛藻			10	
42			鞭毛虫		10	10	

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2023.9.4	2023.9.4	2023.9.4
総数		17866	34530	15734
種類組成	藍藻	1860	650	3470
	クリプト藻	360	240	320
	渦鞭毛藻	0	6	1
	黄金色藻	5	10	0
	珪藻	105	285	80
	ユーグレナ藻	0	20	25
	その他の植物性	0	0	10
	動物性	1	32	30
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2023.10.24	2023.10.24	2023.10.24	
採取時刻			9:00	10:08	9:30	
全水深(m)			15.1	15.3	14.3	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(+)	(5)	(+)
2			Cuspidothrix spp.	(+)	(+)	(+)
3			Pseudanabaena sp.			(5)
4			CHROOCOCCALES	(5)		
5			OSCILLATORIALES	(15)		(35)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	105	180	425
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1	4	1
8			Peridinium spp.		30	40
9	不等毛植物	黄金色藻	Synura sp.			+
10		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		7	16
11		珪藻	Acanthoceras zachariasii	+		+
12			Aulacoseira pusilla	80	50	25
13			Aulacoseira granulata		+	
14			Fragilaria sp.			+
15			Nitzschia acicularis	+		+
16			Nitzschia spp.	5	+	15
17			Skeletonema potamos	+	10	+
18			Ulnaria japonica	15		
19			Urosolenia sp.	+		
20			Thalassiosiraceae-5	10	20	5
21			Thalassiosiraceae-10	10	15	+
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+		
23			Trachelomonas spp.	25	15	30
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	40		40
25			Ankyra sp.		5	
26			Closterium spp.	+	+	+
27			Coelastrum spp.	+		+
28			Crucigenia tetrapedia	+		
29			Crucigeniella crucifera	+		
30			Dictyosphaerium sp.	+		
31			Elakatothrix spp.	+		30
32			Micractinium sp.	+		
33			Oocystis sp.			+
34			Pediastrum simplex	+		+
35			Scenedesmus spp.	30	100	40
36			Schroederia sp.	+		
37				CHLOROPHYCEAE	70	55
38	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		+	
39			Polyarthra spp.	1	+	
40	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.		1	
41				CILIOPHORA		+
42	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻(5μm以下)	+		+
43			鞭毛藻		10	+
44			鞭毛虫		10	10

採取地点		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2023. 10. 24	2023. 10. 24	2023. 10. 24
総数		412	517	742
種類組成	藍藻	20	5	40
	クリプト藻	105	180	425
	渦鞭毛藻	1	34	41
	黄金色藻	0	0	0
	珪藻	120	95	45
	ユーグレナ藻	25	15	30
	その他の植物性動物性	140	160	135
	動物性	0	17	16
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2023. 11. 27	2023. 11. 27	2023. 11. 27
採取時刻		9:45	11:20	10:25
全水深 (m)		19.9	15.2	14.3
採取水深 (m)		0.50	0.50	0.50
採水量 (ml)		100	100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.	(5)
2			OSCILLATORIALES	(+)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	50
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+
5			Peridinium spp.	10
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	+
7		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	+
8		珪藻	Aulacoseira pusilla	5
9			Nitzschia acicularis	
10			Nitzschia spp.	5
11			Skeletonema potamos	+
12			Thalassiosiraceae-5	5
13			Thalassiosiraceae-10	+
14	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
15			Trachelomonas spp.	20
16	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	
17			Ankistrodesmus sp.	+
18			Closterium spp.	+
19			Coelastrum sp.	+
20			Crucigenia tetrapedia	
21			Crucigeniella crucifera	
22			Dictyosphaerium spp.	60
23			Elakatothrix sp.	10
24			Eudorina spp.	36
25			Pediastrum simplex	+
26			Scenedesmus spp.	+
27			Tetraedron sp.	5
28			CHLOROPHYCEAE	10
29	輪形動物	輪虫	Kellicottia sp.	1
30			Polyarthra sp.	
31	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	1
32			POLYHYMENOPHORA	+
33			CILIOPHORA	+
34	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	
36			鞭毛藻	
37			鞭毛虫	
総数			208	300
種類組成		藍藻	5	0
		クリプト藻	50	95
		渦鞭毛藻	0	11
		黄金色藻	0	0
		珪藻	15	75
		ユーグレナ藻	20	5
		緑藻	116	103
		その他の植物性	0	0
		動物性	2	11
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
		検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムであるAtteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2023.12.11	2023.12.11	2023.12.11
採取時刻			11:15	11:53	10:30
全水深(m)			19.5	15.2	14.2
採水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	600	90
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+	
3			Peridinium spp.	40	10
4	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua		+
5			Aulacoseira pusilla	20	+
6			Nitzschia sp.		+
7			Thalassiosiraceae-5	25	15
8			Thalassiosiraceae-10		5
9	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	65	50
10	緑色植物	緑藻	Chodatella quadriseta	5	
11			Closterium spp.	2	+
12			Crucigeniella crucifera		+
13			Elakatothrix sp.	+	
14			Mougeotia sp.		+
15			Oocystis sp.		+
16			Scenedesmus acuminatus	+	
17			Scenedesmus spp.	10	
18			Staurastrum sp.	+	
19			CHLOROPHYCEAE	20	30
20	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	1	2
21	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		+
22			Tintinnopsis spp.	2	+
23			POLYHYMENOPHORA	5	
24			CILIOPHORA	+	
25	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5	
26	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	+	
27			鞭毛藻		+
28			鞭毛虫	20	10
総数				820	202
種類組成					
			藍藻	0	0
			クリプト藻	600	90
			渦鞭毛藻	40	10
			黄金色藻	0	0
			珪藻	45	20
			ユーグレナ藻	65	50
			緑藻	37	30
			その他の植物性動物性	0	0
				33	11
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2024.1.11	2024.1.11	2024.1.11
採取時刻			10:16	10:53	9:20
全水深 (m)			18.3	14.5	13.5
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena sp.	(+)	
2			CHROOCOCCALES		(5)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	15	25
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15	30
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		5
6			Mallomonas sp.		+
7			Synura sp.		5
8		珪藻	Aulacoseira pusilla	+	16
9			Aulacoseira granulata	+	
10			Skeletonema potamos	+	10
11			Ulnaria japonica	+	1
12			Thalassiosiraceae-5	10	10
13			Thalassiosiraceae-10	5	5
14			Thalassiosiraceae-25		+
15	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	+	15
16	緑色植物	緑藻	Chodatella quadriseta		+
17			Closterium spp.	2	5
18			Crucigenia tetrapedia		+
19			Monoraphidium sp.	15	
20			Pediastrum biradiatum		+
21			Pediastrum duplex	+	
22			Scenedesmus spp.	+	+
23			Tetrastrum elegans		+
24			CHLOROPHYCEAE	35	30
25	輪形動物	輪虫	Kellicottia sp.		+
26			Polyarthra spp.		1
27		多膜口	Tintinnidium spp.	2	5
28			Tintinnopsis sp.	+	
29			POLYHYMENOPHORA	+	5
30		-	CILIOPHORA		+
31	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	10
32	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	+	30
33			鞭毛藻		10
34			鞭毛虫	20	10
総数			119	173	289
種類組成			藍藻	0	0
			クリプト藻	15	25
			渦鞭毛藻	15	30
			黄金色藻	0	0
			珪藻	15	32
			ユーグレナ藻	0	15
			緑藻	52	35
			その他の植物性動物性	0	10
				22	26
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2024. 2. 8	2024. 2. 8	2024. 2. 8
採取時刻			9:07	9:43	8:43
全水深 (m)			18.8	14.5	13.9
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	10	40
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		10
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.		10
4			Synura spp.	215	775
5		珪藻	Asterionella formosa		+
6			Aulacoseira ambigua	+	30
7			Aulacoseira pusilla	15	135
8			Skeletonema potamos	195	400
9			Ulnaria japonica	+	2
10			Thalassiosiraceae-5		+
11			Thalassiosiraceae-10	15	20
12			Thalassiosiraceae-25		15
13	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10	35
14	緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.	+	
15			Chodatella quadriseta	5	
16			Closterium spp.	1	2
17			Dictyosphaerium sp.		+
18			Eudorina sp.		36
19			Golenkinia sp.		5
20			Scenedesmus sp.		+
21			CHLOROPHYCEAE	+	35
22	節足動物	甲殻	Diaphanosoma sp.	+	
23	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		+
24			Synchaeta sp.		+
25	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	9	4
26			POLYHYMENOPHORA	5	
27			CILIOPHORA	5	5
28	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		5
29	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	20	40
30			鞭毛藻	30	30
31			鞭毛虫	20	10
総数				555	1644
種類組成			藍藻	0	0
			クリプト藻	10	40
			渦鞭毛藻	0	10
			黄金色藻	215	785
			珪藻	225	602
			ユーグレナ藻	10	35
			緑藻	6	78
			その他の植物性	50	70
			動物性	39	24
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanzomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムであるAtteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 		

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2024.3.7	2024.3.7	2024.3.7
採取時刻			10:29	9:55	10:59
全水深(m)			19.1	15.5	14.5
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	65	80
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.		5
3			Peridinium spp.	50	35
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		5
5			Mallomonas sp.		5
6			Synura spp.	350	200
7			Uroglena sp.		+
8		珪藻	Asterionella formosa	20	4
9			Aulacoseira ambigua	80	65
10			Aulacoseira pusilla	530	10
11			Aulacoseira granulata		30
12			Bacillaria paxillifer		+
13			Navicula sp.		+
14			Nitzschia acicularis	10	10
15			Nitzschia sp.	+	
16			Skeletonema potamos	15	155
17			Ulnaria japonica	5	+
18			Thalassiosiraceae-5	105	35
19			Thalassiosiraceae-10	65	250
20			Thalassiosiraceae-25	+	+
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+
22			Trachelomonas spp.	20	60
23	緑色植物	緑藻	Chodatella quadriseta	+	10
24			Closterium sp.		+
25			Dictyosphaerium spp.	+	+
26			Eudorina spp.		16
27			Monoraphidium sp.	+	
28			Pandorina morum		128
29			Scenedesmus acuminatus	20	
30			Scenedesmus spp.	+	20
31			Tetraedron sp.	+	
32			Tetrastrum elegans	+	20
33			CHLOROPHYCEAE	85	210
34	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+	1
35			Synchaeta sp.	+	
36			EUROTATOREA		1
37	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
38		多膜口	Tintinnidium spp.	1	12
39			POLYHYMENOPHORA	5	+
40			CILIOPHORA	+	15
41	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
42	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	+	10
43			鞭毛藻	50	90
44			鞭毛虫	40	10

採取地点		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2024. 3. 7	2024. 3. 7	2024. 3. 7
総数		1516	1283	1479
種類組成	藍藻	0	0	0
	クリプト藻	65	80	30
	渦鞭毛藻	50	50	40
	黄金色藻	350	520	210
	珪藻	830	294	567
	ユーグレナ藻	20	30	60
	その他の植物性動物性	105	200	404
	動物性	50	60	130
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				